

こどものための鑑賞ガイド

Li Xiaogan

リ・シャオガン



—存在のむこう側—

李 曉剛展

丹波市立植野記念美術館

2019年 月 日 なまえ

●ポイント1

本作とエスキースのちがいをさがそう！ ⇒4階（順路1）

エスキースとは、この場合下絵（試作）のことです。大きな作品を描く前には、何度も試作をかさねてやっと作品が完成します。エスキースの絵では、実際に見たとおりの風景や人物がそのまま描かれていますが、完成した大きな作品には、描くもののバランスを考え、実際にあるものを省いたり、ないものを描き加えたりされているところがあります。



「井戸」2012年



「井戸」エスキース 2011年



「牛を引っ張る」2018年



「牛を引っ張る」エスキース 2017年

●ポイント2

この人は、どの作品にいるかな？

李曉剛先生は人物画で知られる作家です。展示作品40点のうち、33点は中国の少数民族や人物などを描いた作品です。

下の人物は、4階（順路1）から3階（順路5）の部屋に1枚ずつ展示されています。同じ人物の描かれた作品を探してみよう！

4階



3階

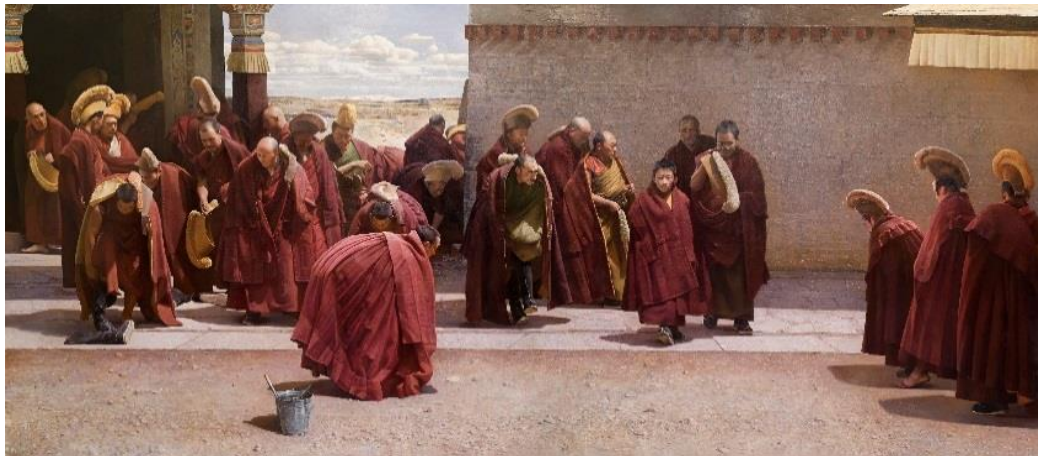


わかったことや、気づいたことをかこう。



●ポイント3

5年をかけて描いた大作 ⇒ 4階（順路1）



「ラブラン寺の僧侶たち」2018年

「ラブラン寺の僧侶たち」の本作は、よこ8メートル、たて3メートル50センチの大作で中国山東省青島市の美術館に展示されています。

李先生は、この様な大きな作品をいつか描きたいと思っていたので、この仕事にとってもわくわくしていました。ところが、キャンバスは一から自分で作らないといけないし、高いところにのぼって描かないといけない。あまりに大きな作品で、途中何度もくじけそうになりました。それでも辛抱強く描き続け、約5年の月日をかけて、ついに作品は完成しました。最後の半年になって、やっと気持ちよく描けるようになったそうです。

展示室ではシルクスクリーンの作品とともに、李先生の制作風景の写真も展示しています。合わせて見て下さいね。

リ シャオガンせんせい

李 曉 剛 先生 から

子どもたちへのメッセージ

好きな事ならば、人から何を言われようとやり続けてください。続けることが、あなたの力になるし、チャンスを生み出します。苦手なことでも、続けていくうちに、好きになることもあります。



制作中の李先生